

【あらすじ】「サイコ研究員の笑い責め実験」

本記事では、公開予定作品のあらすじをご紹介します。

今回は、とある被験バイトに応募した男が女研究員の笑い責め実験の被験体としてくすぐり責めを受けるストーリーとなります。

※F / M 作品となります。

※くすぐり、言葉責め、拘束

是非、お楽しみくださいね！

第一章：実験バイトの面接

- 主人公・男性（被験者志望）が怪しげな「笑い耐久テスト」のバイトに応募。
- 研究所は薄暗く無機質で、サイコな雰囲気の研究員・綾城冷華が登場。
- 研究員は笑顔を見せつつも目つきは冷たく、実験の説明は淡々としている。
- 主人公は軽く不安を覚えつつも、報酬に釣られて実験台に横たわることに。

第二章：拘束と初体験

- 主人公は実験台で拘束され、動けない状態にされる。
- サイコ女研究員による最初の笑い責め開始。
- 脇腹・足裏・耳裏など、敏感な箇所を攻められる。
- 最初の抵抗で笑いが止まらず、羞恥感と恐怖心が入り混じる。

第三章：耐久限界の連続責め

- 笑い責めが段階的・連続的に行われる。
- 羽根、筆、電動器具など道具も使用される。
- 「やめたい？」と聞かれても「やめな〜い」と冷酷に返され、主人公の心は徐々に屈服。
- 汗と涙で全身ぐしゃぐしゃ、理性も限界を迎える。

第四章：屈服と実験データ

- 「完全に屈服したら解放する」と言われるも、耐える主人公。
- 研究員の細かい言葉責めで精神も追い詰められ、ついに屈服宣言。
- 研究員は「データは完璧ね」と笑顔で告げ、さらなる羞恥を重ねる。
- 被験者としての番号やタグをつけられ、完全に管理下に置かれる。

第五章：刻まれる教訓

- 実験終了後も精神的余韻と羞恥が残る。
- 「次回も来てもらおう」と動画で記録される。
- 男は完全に研究員に支配され、笑いとうるさげの記憶が心に刻まれる。
- 「笑いの限界」「屈服の教訓」として、生涯忘れられない体験になる。